

2008
1.5

毎月3回発行
5日、15日、25日
第1063号

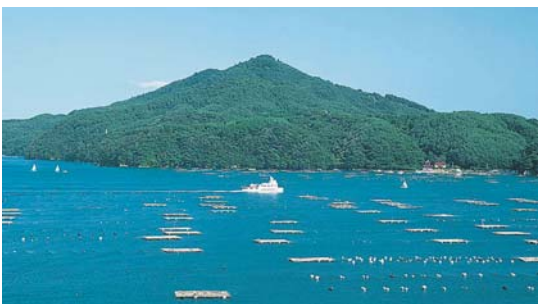


中小企業家しんぶん

発行：中小企業家同友会全国協議会(略称 中同協) 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-39-14 大塚南ビル2F 電話03-5953-5721(代) FAX. 03-5953-5720
定価(送料共)1ヵ月250円/年間3,000円(会員の購読料は会費に含まれます) 振替00120-1-74548
バックナンバー検索 <http://shinbun.doyu.jp/> ユーザー名 shinbun パスワード Mdxfsy4

今号の紙面から

- 2-3面 新春対談「2008年をどう迎えるつか」
鶴柄修中同協会長、広浜泰久中同協幹事長
- 4面 酒蔵を訪ねて 小黒酒造(新潟)
- 5面 新連載「中小企業の事業承継を考える」
- 6面 新連載「経営指針の実践で経営革新」
㈱AZUMA(熊本)
- 8面 (カラー) 埼玉、岩手、和歌山の話題より



「森は海の恋人」植樹祭。漁師たちが大漁旗を掲げ、山に木を植えた。この運動の提唱者、畠山重篤氏は全研・記念講演の講師。

日本の未来の土壌づくりを

「よい会社と豊かな地域づくりを車の両輪に、日本の未来の土壌づくりを」をメインテーマに、三月六日、宮城県仙台市で「第三十八回中小企業問題全国研究集会」(全研・中同協主催)が開催されます。

「中小企業憲章」制定運動が進む中、今回の全研のキーワードは「地域」。開催を担当する宮城同友会では、全研を契機に、地域の「中小企業振興条例」制定を進めたいとしています。

第38回中小企業問題全国研究集会

宮城さ 来てけさいん!

気仙沼湾と大島、島北部にそびえる亀山の頂上からの景色は「緑の真珠」と詠まれるほど。気仙沼湾のリアス式の深い入り江は、全研オプションツアーのコースになっています。/写真提供:宮城県観光課

第38回中小企業問題 全国研究集会

日時 3月6日(木)13時
～7日(金)正午
会場 江陽グランドホテル
(メイン会場)

* 基調講演「地域力経営とは」と18の分科会(1日目)と、記念講演「森は海の恋人」(2日目)

* お申し込みはご所属の同友会事務局まで

なお、見学分科会 第16、17、18分科会への参加登録は定員に達し、締め切られました。

詳細は下記ホームページ
<http://www.miyagi.doyu.jp/38zenken/index.html>

私自身も、今回の全研の実行委員長を引き受けましたのは、何よりも同友会の目指す国のビジョン、地域のビジョン、企業のビジョンをつなげて考える、という

第三十八回中小企業問題全国研究集会実行委員長
鶴島 孝敏
(日東インダ㈱社長)

今年、宮城同友会を質量共に高め、より一層地域からあてにされる組織にするためです。

最高のおもてなしと考慮して準備をすすめています。皆様のお越しをお待ちしています。

今年、宮城同友会を質量共に高め、より一層地域からあてにされる組織にするためです。

最高のおもてなしと考慮して準備をすすめています。皆様のお越しをお待ちしています。

今年、宮城同友会を質量共に高め、より一層地域からあてにされる組織にするためです。

最高のおもてなしと考慮して準備をすすめています。皆様のお越しをお待ちしています。

今年、宮城同友会を質量共に高め、より一層地域からあてにされる組織にするためです。

最高のおもてなしと考慮して準備をすすめています。皆様のお越しをお待ちしています。

今年、宮城同友会を質量共に高め、より一層地域からあてにされる組織にするためです。

最高のおもてなしと考慮して準備をすすめています。皆様のお越しをお待ちしています。

今年、宮城同友会を質量共に高め、より一層地域からあてにされる組織にするためです。

最高のおもてなしと考慮して準備をすすめています。皆様のお越しをお待ちしています。

円卓

二〇〇八年の新春をいかがお迎えてでしょうか。経済指標で見る限り、昨年後半の中小企業

景気は芳しいものではなく、倒産件数はかつてなく増加し、景気は「足踏み」から「不況」に陥っているとの指摘もあります。▼環境の厳しさにもかかわらず同友会は着実に会員を増やし続け、昨年十二月一日には念願の四万名を突破しました。このことは「困難な経営課題を同友会で学び解決しよう」同友会の仲間を増やし地域に活力を取り戻そう」との熱い呼びかけが待望されている証左といえます。▼昨年は同友会創立五十周年を迎え、改めて同友会運動の歴史と理念に深く学ぶことに力を入れてきました。新会員の皆さんには一日も早く会に蓄積された財産を伝え、会活動への積極参加を促し、仲間と共に企業改革を進める喜びを味わってほしいものです。▼同時に学びの場を支部・地区内にとどめず県内、全国に広げていただきました。今年三月に宮城で全研、七月に埼玉で全国総会、九月には岩手で青全交、さらには課題別の全国交流会も開かれます。このような企画に計画的に参加し「学びと実践」を結合することで、自社の経営と同友会運動を力強く前進させる年としよってはありませぬか。